

十一月六日 曇天 櫻井甚大夫
 一、昨日御沙汰之通 御誕生日二付、
 遠石八幡宮江為 御代参片岡
 庄右衛門相勤、御久米取帰候付、御居間へ
 差出候事、
 （白粹部分）

記録所日記 明和5年11月6日条（徳山毛利家文庫 記録所日記346）

殿様の誕生日

《誕生日》

自分の生まれた日である誕生日。友人や家族に祝ってもらったり、自分で自分にプレゼント、あるいは何もせずに黙ってスルー…など、その日の迎え方は人それぞれでしょう。

時は変わって江戸時代。当時の藩の記録を読んでいると、「意外」なことに誕生日に関する記事を目にすることがあります。藩の記録という性格上、殿様(藩主)が中心になるという制約がありますが、江戸時代の武家社会でも誕生日を祝うことが行われていたようです。

ここでは、萩藩の支藩である徳山藩(約4万石)の2人の藩主の事例を紹介します。

《2代藩主毛利元賢の事例》

2代藩主毛利元賢(1670～1690)は、寛文10年6月14日江戸で生まれました。21歳の若さで亡くなるので、そのほとんどを江戸で過ごしています(徳山へは2度下向しています)。元賢の事例からは、江戸での誕生日を見てみましょう。

貞享元年(1684)の場合、まず「三田八幡」(現東京都港区三田に所在する御田八幡神社と考えられます)へ代参の使者が派遣されます。また元賢は、月代を剃り行水も行って、身を清めています。これは、誕生日のため特別に行われたようです(「御誕生日二付而之御行水也」)。

祝いの膳は「三汁七菜」、鶴の汁、お菓子として瓜などが出されています。また、家老をはじめとする重臣とその嫡子や留守居などには「二汁五菜」、それ以外の家臣には「一汁五菜」の料理が下賜されています。さらに、招かれていた家老らの夫人たちへも料理が下されました(以上、徳山毛利家文庫 福間隆廉自記6、貞享元年6月14日条)。

なお、翌貞享2年の誕生日は、家臣に対して吸物と酒が下されました(同 福間隆廉自記9、貞享2年6月14日条)。これに加えて、同 記録所日記24 貞享2年6月14日条には、あわせて餅と肴も下賜されたとあります。前年と比べて随分と質素になった印象がありますが、旧例に戻し



明和5年11月15日条
 (徳山毛利家文庫
 御居間日記248)

本文で取り上げた記録所日記とは別の御居間日記を見てみると、明和5年11月15日の就馴の誕生にあたっては、大殿様(隠居していた5代藩主広豊)から、祝いの使者が派遣されていたことも窺えます。

た結果とのことです(同 福間隆廉自記9、貞享2年6月12日条。下の写真と釈文参照)。

《7代藩主毛利就馴の事例》

次に藩主が徳山に滞在している場合について見てみます。

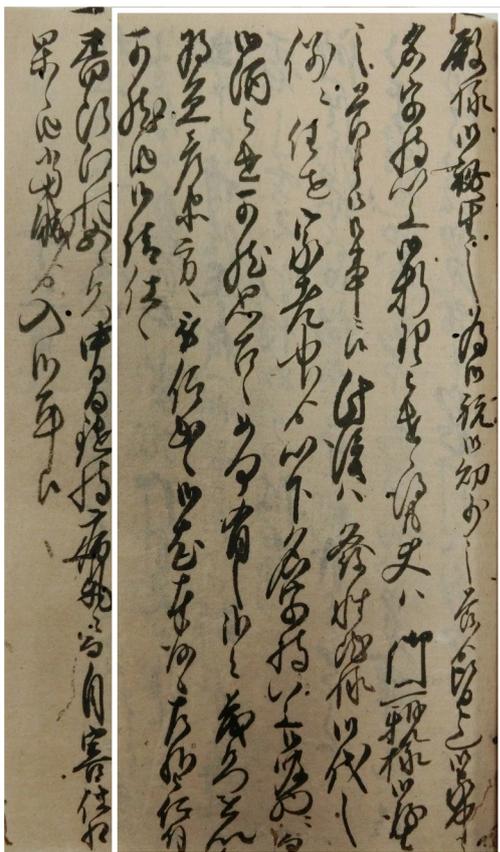
7代藩主毛利就馴(1750～1828)の事例を取り上げます。彼の実父は5代藩主毛利広豊ですが、6代藩主で兄の広寛が早くに亡くなったため、7代藩主となりました。彼は寛延3年11月6日の生まれです。

明和5年(1768)の場合、誕生日の3日前に祝酒を下賜する旨が家老ら重臣たちに伝えられています。また同じ日には、「御誕生御祝」を下されるので、当番・非番の記録所の人々などに「四時」(現在の午前10時頃)の出仕を命じています。藩主の誕生日は例年のことですが、関係者にはこうした通知がなされていたわけです。

さて当日は、「御誕生之御祝」として、出仕した家老やその嫡子、御用人などへ吸物・「御肴」一種・酒が振舞われました。また別室では目付・蔵本両人役・作事奉行その他に対して同様のものが下されています。

また、殿様の誕生日には、徳山毛利家の崇敬を集めていた遠石八幡宮へ代参の使者が派遣されました(表面参照)。

なお、理由はわかりませんが、この年の誕生の祝いは11月6日から15日に延期されています。そのため、家老などへの祝いの下賜は11月15日に行われた一方、遠石八幡宮への代参使者は正規の誕生日(11月6日)に派遣されています(以上、徳山毛利家文庫 記録所日記346、明和5年11月6日・12日・15日条)。



福間隆廉自記九 貞享二年六月十二日条より

- 一、殿様御誕生之為御祝、御幼少之節方頃日迄御家中名字持以上御料理被遣候得共、夫ハ 御二親様御存生之節之御御事ニ候、此後ハ 発性院様御代之例ニ任せ、家老中より以下名字持以上御吸物ニ而御酒被遣可然思召候、如何有之哉と茂左衛門を以将監・彦兵衛方へ被仰出候、御尤奉存候、左様被仰付可然由御請仕候、

(白枠部分)

「豪華な」誕生祝いの膳は両親が存命中の時のことであり、「発性院様」(初代藩主毛利就隆。元賢の父)時代の例にならって、家中へは吸物と酒の振る舞いにしてはどうか、と元賢が家老等に諮っています。家老等もそれに同意し、この年からは本文にあるような形になりました。